

# 業務部速報



No. 37

発行 21. 9. 2

JR東労組 業務部

解本申9号

「新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」に関する説明申入れ団体交渉を行う！③(9月1日開催)

## 6. 標準数が12減の根拠を明らかにすること。

<b>組合</b> E4系廃止に伴う、配置車両の編成はどのように変化するのか。	<b>会社</b> 今現在、E4系が7編成、E7系が10編成、E2系が10編成である。年末時点でE7系が12編成、E2系は11編成になる。最終的には、2023年末までにE7系は20編成を予定している。
交検の本数が減ることだが、現行何本から改正後何本になるのか。	現行は18本が、15本になる予定。月によってプラマイ2本くらいの変動がある。
月15本を少ない人数で検修交検する。△12名で職場の人数が減るが、教育時間は増えるのか。	今の断面では、確実に減る・変わるとは言えない。踏まえた上で、有効に活用出来ると考えている。
交検については、業務量・体制変更により要員が大きく減る。△12が全部交検ではないと考えるが、臨修・技術管理の業務に影響が出るのではないのか。	△12の要因は交番検査、検修当直が大きく関わっている。
職場全体の標準数と現在員数を伺いたい。	標準数は長1、助役9、事務職4、車両職58となる。現在員数(8月1日現在)は助役10、事務職4(休職者除く)、車両職76である。
現行の標準数70に対して、現在員数はギリギリではないかという感覚だが、どうか。	余力があるかどうかは、それぞれによって違う。

**安全、品質管理が前提であり、現在員をどう確保するのか課題だ！効率化ありきではない！**

## 7. 体制見直しにあたって、新潟新幹線車両センターにおけるスケジュールを明らかにすること。

<b>組合</b> 社員説明については、いつから、何回行うのか。1回とはならない。	<b>会社</b> 内容も踏まえて箇所を検討している。基本的には最低1回行う。説明会の中で質問が出て、必要があれば2回目を開催する。
社員説明が既に行われているが、不安解消は出来ない。どのように不安なのか、意見を聞く機会をつくるのか。	やりとりはある。説明会に限らず、不安・意見については適宜管理者に伝えていただきたい。
△12の不安解消が必要。説明しても分からない人もいる。管理者に聞いても分からない。そうなれば管理者に相談も出来ない。職場に任せるだけでなく、前広に情報をいただきたい。	それを踏まえて説明会を実施する。社員からも不安は発信していただきたい。一方的に待っているのではなく、管理者・所長に話すことも大事である。コミュニケーションを取っていただき、ただ待つだけではなく想いを伝えていただきたい。
今施策に伴い異動はあるのか。	施策だから特別に異動が発生するものではない。

**適正な要員配置により、技術継承と安全レベルが向上する教育体制を構築し働きがいある職場をつくり出そう！**